



Bosch高機能デナイトカメラを、重要文化財のモニタリングに活用



専修寺 御影堂

Bosch デイナイトカメラ、赤外線照明器、各21台を設置

三重県津市の真宗高田派本山「専修寺」は、親鸞の真筆「西方指南抄」（附 直門弟書写本）、「三帖和讃」を所蔵し、これらはいずれも国宝に指定されています。西方指南抄は、親鸞が師匠である法然の言葉、消息、行状などを上中下三巻にわたって記したものです。三帖和讃は、「浄土和讃」「浄土高僧和讃」「正像末法和讃」の三帖から成り、親鸞が佛菩薩、高僧の徳を讃えたものです。また、専修寺の御影堂、如来堂は、建物自体が重要文化財に指定されています。このほかにも、快慶作といわれる木造阿弥陀如来立像、「水鏡」上中下三帖、教行信証（高田本）6冊など、数多くの重要文化財が宝物殿などに収蔵されています。

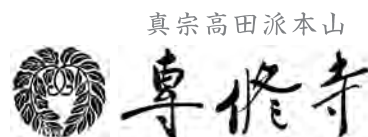
専修寺では、ここ数年、経典の盗難、御影堂への落書き、御影堂内でろうそくに火を点けたまま立ち去った事件などが起きており、重要文化財を中心にネットワークカメラによるモニタリングの必要が高まっていました。

2011年3月、専修寺にBosch Dinion IP DN（型番：NBN-498）21台が設置されました。各カメラには、Bosch AEGIS 赤外線照明器、人検知センサー、照明が併設されています。また、宗務院には、Bosch Divar 700ネットワークビデオレコーダーと操作用のパソコン1台を導入。この他に、モニタリングの拠点にパソコン6台が設置されました。Dinion IP DNは、Bosch独自の2Xダイナミックエンジンを搭載し、ダイナミックレンジを拡張した高機能デナイトカメラであり、照明のない場所、暗い場所の映像記録に最適です。

さらに、Dinion IP DNには、IVA（Intelligent Video Analysis：ビデオ解析機能）を搭載。「不審者検知機能」により、いるべきではない場所に人がいた場合に、光アラームを発します。

モニタリングシステムの導入後、IVA「不審者検知機能」のテストを繰り返した結果、検知率はほぼ100%を達成。一方、動物や昆虫などを検知してしまうといった誤作動もありませんでした。専修寺は、東西本願寺にも匹敵する広大な敷地を有しているため、山門、唐門、太鼓門などから出入りする人の姿をすべて記録することにより、モニタリングシステム導入の効果が出てきたということです。

■ 真宗高田派本山 専修寺（せんじゅじ）



専修寺 如来堂

所在地：〒514-0114 三重県津市一身田町 2819

1225年、親鸞聖人が栃木県真岡市高田に専修念仏の根本道場を建立し、現在の本寺専修寺となりました。1469～1487年にかけて、十代真慧（しんね）が三重県津市一身田町に本山専修寺を建立。国宝の親鸞の真筆をはじめ、御影堂、如来堂など数多くの重要文化財を収蔵しています。

● 重要文化財の保護のためにデイナイトカメラを導入

専修寺には、国宝、重要文化財が多数収蔵されています。2010年6月、重要文化財の保護を目的として、炎感知器などの防災設備の導入と並行して、ネットワークカメラによるモニタリングシステムの検討が開始されました。

システムの要件として、とくに重視されたのは、昼間はもちろん、夜間や比較的照明の暗い場所においても、鮮明な映像を配信し、ネットワークビデオレコーダーに保存するとともに、リアルタイムでモニタリングが可能であることでした。

Bosch Dinion IP DN (型番NBN-498) は、カラー0.015/白黒0.006ルクスという最低照度に対応し、優れたダイナミックレンジを装備しています。暗い御影堂の内部や、夜間、真っ暗な場所でも、AEGIS赤外線照明器との併用により、鮮明なモノクロ映像を配信することが可能です。Dinion IP DNは、専修寺のシステム要件を満たしていたことから、導入が決定しました。



専修寺御影堂内6カ所にBoschデイナイトカメラ、AEGIS赤外線照明器を設置

● 門からの人の出入りを記録映像によりすべてチェック

真宗高田派本山 専修寺 財務課長 本堂千晃氏は、モニタリングシステムの導入効果について語っています。「専修寺には、唐門、山門、黒門、太鼓門など、人の出入り口がたくさんあります。たとえば、山門の開門は午前5時ですが、早い人は朝4時頃から開門を待っています。開門したあとは、人の出入りは自由ですから、何時に開門したか、誰が開門したかを確認し、その後の人の出入りを記録することが重要になります。NVR (Network Video Recorder) に保存し

た映像は、毎日、昨日分のデータを門ごとにすべての人の出入りを確認しています」

Boschのモニタリングシステムでは、サーバーレスでNVRのデータをチェックすることができる点も、高く評価されました。



真宗高田派本山
専修寺
財務課長 本堂千晃氏

● 今後のシステム拡張も計画中

専修寺は、今後もネットワークカメラを増設し、新たなアプリケーションの導入も検討しています。真宗高田派本山 専修寺 総務 藤森邦夫氏はモニタリングシステムの将来に関して以下のように述べています。「本来は、お寺の門はすべての人に開いているのに、モニターすることは望ましいことではありません。しかし、専修寺には、国宝、重要文化財を守る責務があります。近い将来には、参拝者の人数の確認をしたり、PTZネットワークカメラのパン/チルト/ズーム機能を利用したりすることも考慮していく必要があるでしょう」

専修寺は、Boschネットワークカメラの高度なデイナイト機能、AEGIS赤外線照明器、Bosch独自のIVAを利用したモニタリングシステムを構築し、今後の拡張も計画中です。



御影堂と如来堂をつなぐ通路(屋外)にも、カメラ(ハウジング入り)と赤外線照明器を設置

● お問い合わせ先

Bosch Security Systems 日本総代理店



インテリジェント・ビデオ・システム部
〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-21 住友不動産西五反田ビル2階
Tel. 03-5759-4164 Fax. 03-5759-4182
<http://www.hochiki.co.jp/business/cctv/>